

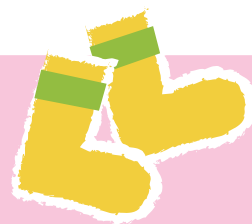


ひとりひとりの発達を見守り、子どもの成長していく力を応援します



子育てひろばのある小規模保育室

みんなのとことこ



令和7年度 ご利用のしおり

施設の概要



みんなのとことこ

小規模保育室 A 型 0 ～ 2 歳児

● 開園時間

月曜日～金曜日	8：00 ～ 19：00
土曜日・日祝	応相談（8：30 ～ 17：30）

＊連携園＊千川保育園

情報提供や職員の学び・子どもたちの体験をねらいとし、職員研修や園庭開放や行事に参加させていただいています。

施設の種類	小規模保育室（A型）
所在地	〒180-0014 武蔵野市関前4-17-10
電話	☎0422-27-7195 ＊090-5331-6311
開設年月日	平成30年4月1日
延べ床面積	146㎡
建物	鉄筋コンクリート 5階建て1階

● 職員数

施設長 1 名
保育士 6 名
調理 1 名

● 定員

0 歳児 6 名
1 歳児 6 名
2 歳児 6 名

＜とことこおやこひろば＞

隣室ではおやこひろばを開催しています

＜一時預かり保育＞（おうちのとことこ・ひろば）



とことこだれでも通園プラン

＊就労などの要件は必要なく、週に 1 日保育室の仲間と過ごします。
（東京都の「多様な他者との関わりの機会の創出事業」）



小規模保育室・余裕活用保育

＊小規模保育室の定員に空きがあった際に利用できる一時預かり保育です。



定期利用保育（小規模保育室と合同保育です）

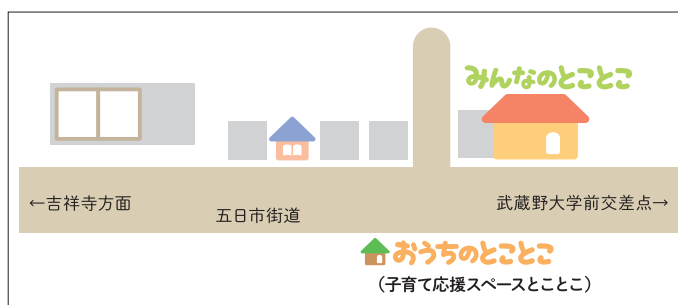
＊就労など要件のある方対象の
1 か月以上継続で利用の保育です

● 定員 6～9 人

（子育て応援スペースとことこ）

おうちのとことこ

＊令和 7 年度は一時預かり保育の部屋となります。



保 育 方 針

1 一人ひとりを大切に

子どもたちひとりひとりにこれまでの道のりがあり、その時々思いがあり、成長があります。その思いや道のり、その子自身を大切にしていきます。

2 子どもの思いに共感する

まわりの大人に自分の思いを受け止めてもらい、言葉にしてもらうことで、子どもたちは思いや感じたことを自分のものとして大切にし、次への力につなげていきます。ひとりひとりの思いに丁寧に寄り添います。

3 人への愛情や信頼する気持ちを育む

愛され、自分に誇りを持てるような大人や友だちとの経験の中で、相手を思う気持ちや、その関係を大切にする気持ちを育んでいきます。

4 家庭とのつながりを大切にしながら、成長を見守る

家庭は、子どもたちにとっていちばん大好きで安心できる場所。おうちでの様子、保護者の方のご事情や思いを伺いながら、一緒に子どもたちの成長を見守っていきます。

5 地域の子育てを応援する

子どもは地域の中で育ちます。子どもたちにとって、子育て家庭にとって、安心できる地域になるように、応援するひとつの場でありたいと思っています。

保 育 目 標 こんな子どもに育ってほしい

- ◇愛され、認められる喜びを感じ、自分を大切にできる子ども
- ◇感じる心、考える力を持つ子ども
- ◇人、もの、自然など身近な環境に興味を持ち、楽しんで関われる子ども
- ◇健康な身体と心を持った子ども



1日の流れ

* 食事、睡眠の時間は月齢など時期により、前後してきます

1 歳児	2 歳児
8:00 ～ 視診・あそび	8:00 ～ 視診・あそび
9:00 水分補給・お散歩	9:00 水分補給・お散歩
11:00 検温・食事	11:20 検温・食事
12:00 午睡	12:30 午睡
15:00 検温・おやつ	15:00 検温・おやつ
あそび	あそび
17:00 夕方保育	17:00 夕方保育
18:30 夕方補食	18:30 夕方補食
19:00 保育終了	19:00 保育終了

*0 歳児は月齢に応じた個々のカリキュラムで過ごしています
* 定期利用保育の保育時間は、9 時～ 17 時です



グループ保育・交流保育

保育室では、0 歳児は「ももグループ」1 歳児は「きいろグループ」2 歳児は「そらグループ」と、グループに分かれて担任がついています。
グループの時間と他学年一緒に過ごす時間、子どもたちの様子を見ながらバランスよく過ごします。

定期利用保育は、ほいくしつのこどもたちと合同で上記グループに所属してすごします。
活動やお友だちとの触れ合いの様子などお伝えしていきますね。



保護者参加行事

保護者の方と、保育や子どもたちの様子を共有し合いたいと思っています。是非ご参加ください。

◆1 学期

- ・4 月 親子親睦会（グループごと）…普段あそんでいる部屋で、親子みなさんでの交流です *0 歳児は 5 月に変更します
慣れ保育の子どもたちの様子もお伝えします
- ・6 月 保護者会（オンライン）…今年の保育の計画の中から「子どもたちの様子」「大切にしたいこと」をお伝えします
- ・（5～7 月の間） 個人面談…お子さんのこと、子育てに関する事など担任とゆっくり話す機会です

◆2 学期

- ・10 月頃 保護者会&講演会…子どもたちの姿と育ちを画像や動画でお伝えします。
外部講師をお招きして、保護者と保育者が共に学ぶ場としたいと思います
- ・10 月頃 保育参加と個人面談…「参観」でなく、「参加」です。一緒にクラスに入って保育の様子を楽しんで下さい
- ・12 月 リズム遊びの会（オンライン）…保育で親しんでいるリズムあそびをご自宅で一緒に楽しむ会です

◆3 学期

- ・2 月 保護者会
- ・（1 月～3 月の間）個人面談（希望者）
- ・2 月頃 こどものあそび展…こどもたちのあそびと作品の展覧会です
- ・3 月 おおきくなったねの会（2 歳児親子）…卒園の 2 歳児のお祝いの会です

<法人イベント>

- *とことこフェスティバル（秋予定）
- *絵本ライブ（時期未定）



遊ぶ

0歳児や短い時間など、園庭で遊ぶこともありますが、基本的には晴れたら毎日お散歩に出かけます。自然を感じ、身体を動かして遊ぶことができるように、学年や時期を配慮しながら、近隣の公園で遊びます。(map 参照)



身支度・生活習慣

2歳児までの3年間は、自分で身支度をする喜びや、手洗い、排泄の習慣・食べる・寝るといった生活リズムが整って、成長につながる大切な時期です。ご家庭と連携しながら自分でやりたい気持ち、生活リズムを整えることを大切に日々を過ごしていきたいと思っています
脱ぎ着がしやすいシンプルな柔らかい服をお持ちください



お昼寝

睡眠時は、顔色、汗、呼吸、体勢などの確認を

0～2歳児まで全員5分おきに行っています。

年齢を問わず、うつぶせ寝はしませんので、ご家庭でうつぶせ寝に慣れているお子さんは、職員が仰向けにするタイミングで起きてしまうことがあるかもしれません。

ご家庭でも、仰向けに寝る習慣がつくといいですね。



食育

とことこの食育目標

「楽しく食べる・楽しく生きる」

- ①おなかのすくリズムの持てる子ども
- ②一緒に食べたい人がいる子ども
- ③食事作り、準備に興味を持つ子ども
- ④食の循環に興味を持ち、命を大切にする子ども
- ⑤五感全てを使って食べることを楽しむ子ども

お散歩で畑を見たり、実際に野菜を触ってみたり…食材に親しんだり、何より「楽しく食べる」ことを大切に過ごします。



新年度に向けて・慣れ保育

<初日・2日目> 9時から昼食まで（お迎え時間：0歳児…11時15分 1.2歳児…11時40分）

<3・4日目> 9時から15時＊おひるねまで（0歳児は14時半）

<5日目> 9時から17時まで（お迎え時間：17時）

＊お子さんの様子によって変更のご相談をさせていただくことがあります

とことこ おさんぽ MAP

天気の良い日は毎日のように
おさんぽにでかけます。
季節を感じて身体を動かす
子どもたちの大好きな
スポットをご紹介します。



公園以外のとことこ周辺にも、
ベビーカーや手をつないでおさんぽ
にでかけます。
きれいなガーデニングを見たり、
クリスマスシーズンは電飾ピカピカ
もとても楽しみ。
近所の方々にもたくさん声をかけて
もらってます。



■ 登降園時間・お迎えの方

登降園の時間は、契約した時間をお願いします。
保育終了時間に向けてお子さんの帰り支度をしています。お迎えが遅れる場合は早めにご連絡をお願いします。

また、朝の連絡用紙で伺っている方以外の方へのお子さんのお引渡しは、できません。
お迎えの方が変更になる場合は、必ずお電話でご連絡をお願い致します。

■ 欠席・遅刻のご連絡

当日保育開始時間までに必ずご連絡をお願いします。
また、お子さんの体調が悪い場合のご連絡時には、
熱の計測値や時間（いつから何度あるのか）受診の有無など詳細をお伝えください

■ 当日保護者の連絡先

在宅ワークや、お仕事を休み、用事等で出掛けている場合など、
出勤以外の日は必ず連絡先と居場所を連絡用紙にご記入下さい

<以下に当てはまる際は登園を控えて下さい>

- ・ 37.5 度以上の発熱がある場合
(解熱剤無しに解熱してから 24 時間以上が経過し、体調が戻るまで)
- ・ 下痢、嘔吐の直後、水様便の状態や通常食が食べられない状態
- ・ 予防接種の後
- ・ 発疹または目の異常（充血など）がある場合は、必ず医師の診断を受けて集団保育に問題がないことを確認してから登園してください

<発熱や嘔吐などでお休みした後の登園の目安>

* 体温 *

- ・ 24 時間以内に発熱していない、また、解熱剤を使用していない
- ・ 平熱であり、活気や食欲が普段通り

* 咳 *

- ・ 夜間普段と同じように眠れている
- ・ 喘鳴（ゼイゼイ・ヒューヒュー）がなく、呼吸困難がない
- ・ 食事が普段通り食べられる
- ・ 咳が原因で嘔吐しない

* 皮膚（発疹・皮疹など）・目 *

- ・ 前日と比べて症状（発疹の数・範囲等）が改善している
- ・ 目やに、充血等がなくなる
- ・ 感染症の疑いがない

* おなか（嘔吐・下痢） *

- ・ 24 時間以内に嘔吐や下痢がなく平熱であり元気がある
- ・ 普段通りの食欲がある
- ・ 食事を取った刺激で便（普段より緩いまたは下痢）が出ない

夜間・休日の緊急時のご連絡や、登園を迷った際のご相談は

- ・ 夜間…info@tokotoko.to までメールして下さい
(すぐに確認できないこともあります。お電話番号も入れて下さい)
- ・ 休日…一時預かり保育を行っている日（ひろばカレンダー参照）は、
090-5331-6311 または 0422-27-7195 までお電話下さい

■ 登園

動きやすく、調節しやすい
服・靴でお越し下さい。

そらグループは正面玄関から

もも・きいろグループは園庭から・登降園となります（園庭が混み合っている場合は、門の外で並んでお待ちください）

1. 登園時にお子さんの検温をしていただきます。
2. 「毎日のご家族および休みの日のお子さんの健康確認シート」（注 1）および連絡帳（注 2）で、健康状態などの確認をさせていただきます。
前日までのご家庭でのケガや体調などの様子も必ずお知らせ下さい
3. お子さんの爪を拝見させていただきます。怪我につながるのでこまめに切ってあげて下さい。
4. お荷物をお預かりします。
5. お子さんの手をテラスの洗面台で洗ってあげてください。（その後、お子さんは職員と入室します。）
*季節やお子さんの月齢によって職員で対応することもあります。（ももグループは当面入室後職員が洗います）
*そらグループは、入室後職員と洗います

6. タイムカード打刻（お出かけの際に押して下さい）

オートロックについて

お子さんの安全を守るための防犯対策として門扉・正面ドアのオートロックを導入しています。
送迎時には、保護者の方はオートロックの解除のボタンを押して開錠してください。

*登録番号は新年度にお伝えします。防犯上お知らせした人以外には教えないでください。

*外に出る時は、左手の解除キー一番下のボタンを押して下さい。

子どもの指挟み防止に、基本的には最後まで手を添えて門を閉める仕様になっています。
必ず、施錠を確認してから門を離れて下さい

■ お迎えの際

インターホンを鳴らしてグループとお名前を室内のスタッフに伝えてから、お入りください

この際、事務室の職員が保育室に声をかけます。
必ずインターホンでのお知らせをお願いします。

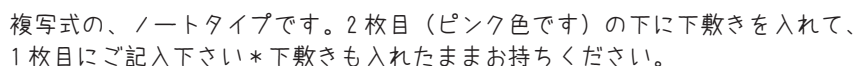
タイムカード打刻（朝同様押して下さい）

*子どもたちのあそびの区切りや、お迎え時の報告などの事情で、
引渡しの順番が前後することもあります。ご了承ください

（注 1）「毎日のご家族および休みの日のお子さんの健康確認シート」（別紙参照）

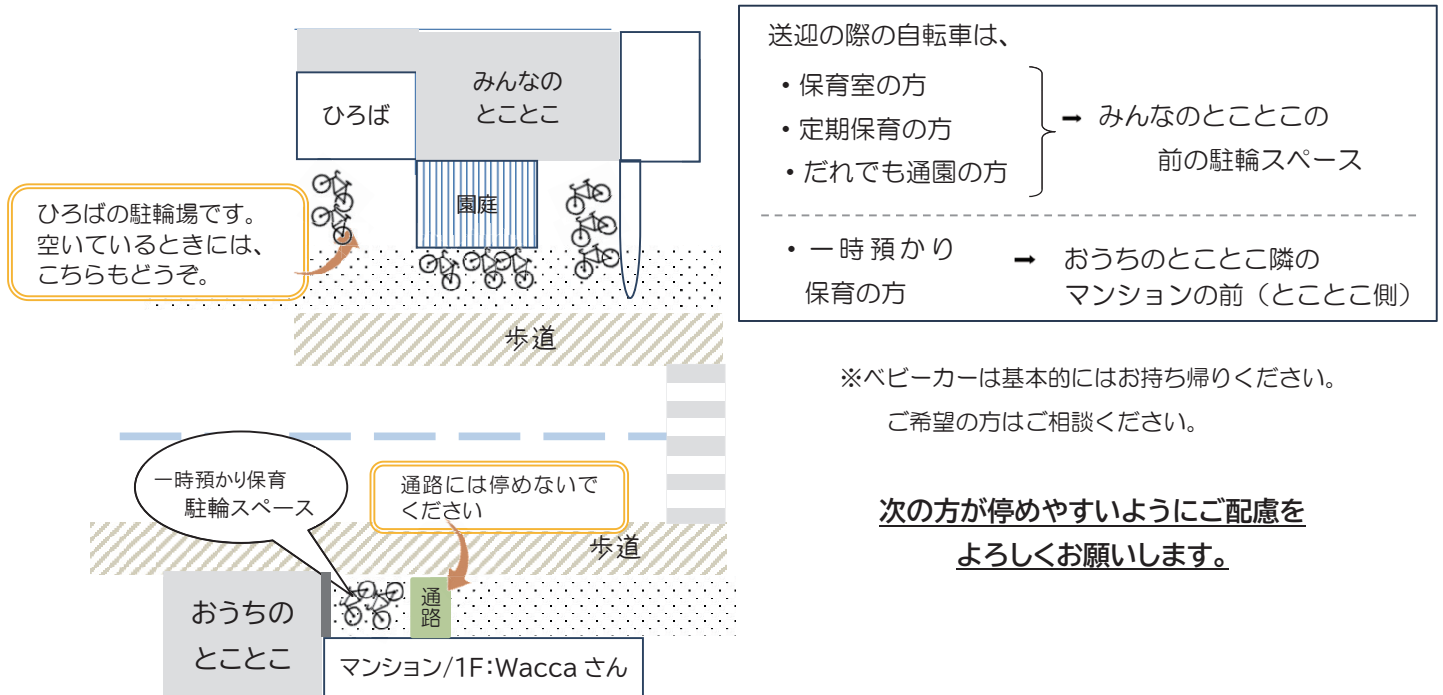
- ・感染症予防のため、ご兄弟含めた同居のご家族の方の体調と、休みの日のお子さんの健康状況を
確認させていただきます。どうぞご協力下さい。
- ・1 か月ごとの表になっています。毎日ご記入の上お持ちください。（毎日確認の上、聞き取りします）

- ・お出かけ前の検温の数値をご記入下さい
- ・当日の連絡先は、必ずつながる連絡先をご記入下さい
- ・お迎え時間が契約を超える希望の際は必ず前日までにご相談下さい。
- ・ご自宅での怪我や処置（絆創膏やホクナリンテープなど）は、必ずお伝え下さい



保育中の様子を
こちらで記入し
ます。

お子さんの送迎の際は、ケガのないよう、安全に十分留意ください



《自転車での送迎の注意点》

～自転車は以下の点に注意して、交通ルールを守って走行するようにお願いします～

- ① 自転車は、道路の左側に沿って走行してください。
- ② やむを得ず歩道を走行する場合は、すぐに停止できる速度で走行し、歩行者の通行を妨げる場合には、停止するようお願いします。
- ③ 夜間はライトを点灯し、信号を守って走行してください。また、交差点では一時停止と安全確認を行ってください。
- ④ お子さんには乗車用ヘルメットをかぶらせるようにしてください。
- ⑤ 自転車にお子さんを乗せたまま、自転車から離れないようにしてください。
- ⑥ 前と後ろにお子さんを乗せている場合は、前のお子さんから降ろしてください。

《車での送迎はご遠慮ください》

みんなのとことこには駐車場はありません。やむを得ず、車を使われる場合は、近隣のパーキングをご利用ください。
路肩やセブンイレブン・榎本園芸・その他店舗等に停めての送迎は、近隣のご迷惑となりますのでおやめください。



記名のお願い・持ち物のご案内

<毎日の持ち物>

【全員共通】

- 連絡帳＋健康確認シート（手紙ファイルに入れて）
- オムツ 5枚程度（後ろ部分に記名・初回のみ10枚）

※毎日の着替えのセットは着替え袋に入れてお持ちください
※使用後のオムツは保育園で廃棄します

+

【ももグループ】

- 着替え（Tシャツ（長袖か半袖）、ズボン）2セット/（下着、靴下）1セット

【そら・きいろグループ】

- 着替え1セット（Tシャツ（長袖か半袖）、ズボン、下着、靴下）

【だれでも通園】

- 着替え2セット（Tシャツ（長袖か半袖）、ズボン、下着、靴下）
- バスタオル1枚
・（外遊び用の上着と靴は登園時のものと兼用で構いません）

<保育園に常時ストックしておくもの（小規模保育室・定期）>

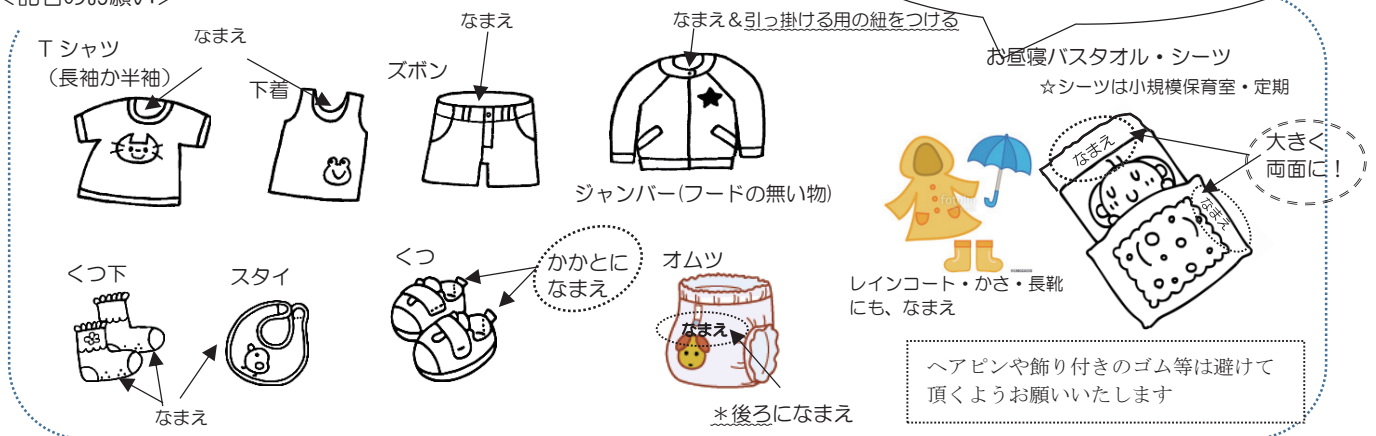
- ももグループ→ 着替え3セット・オムツ5枚程度（後ろ部分に記名）
- きいろ・そらグループ→ 着替え2セット・オムツ5枚（後ろ部分に記名）

※ストックの着替えを洗濯で持ち帰った翌日は、同じ数の補充をお願いします

<1週間おきのもの（小規模保育室・定期）>

- お昼寝用バスタオル（上掛け）
- シーツ（小規模保育室・定期）
- 外遊び時の上着（ジャンパー）
- 外遊び用のくつ（かかとに記名）

<記名のお願い>

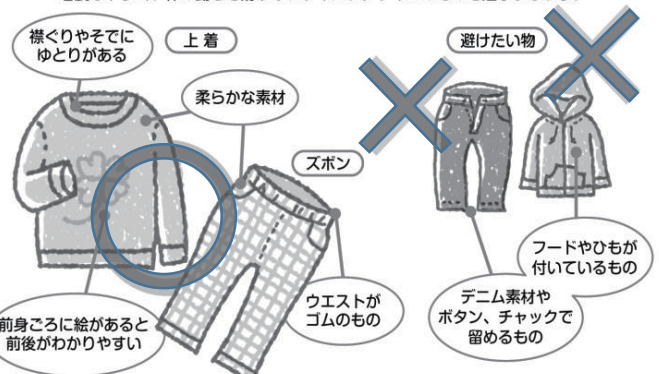


靴の選び方



着替えがしやすい服の選び方

着脱しやすく、体の動きを妨げないサイズ、デザインのものを選びましょう。





給食について



給食の献立について

みんなのとことこの給食は、園内の調理室で調理したものを提供します。
給食の献立・栄養価計算・食材調達は、外部委託しています。

メニューはその食事の味や食材に慣れて、安心して食べられるようになることを
目的とし、2週間サイクルで提供します。

<離乳食について> ＊小規模保育室のお子さんのみ提供

- ・お子さんの進み具合に合わせた食事（食材、形態）を作っていきます
- ・3回食になった9か月ごろからは、午後に補食としてのおやつを提供があります。

＊定期利用保育・だれでも通園プランをご利用の方は離乳食はご持参ください（3回食になった際の補食もお願いします）
食後のミルクはこちらで提供させていただきます（費用はかかりません）



給食・おやつの展示

当日の離乳食、幼児食、おやつは、写真を撮り、献立表とともに施設内に掲示します。
お迎えの時にご覧ください。

■ アレルギー等への対応について

（基本的には除去食の提供はしていません）

入園前に食べたことのある食材を確認させていただきます。入園後にアレルギー反応が出た場合は、
保護者の方とご相談の上、お弁当をご持参いただくなど、対応させていただきます。

■ 食材の確認をお願いします

毎月の献立配布の際にお子さんが食べたことのない食材がないか確認をお願いします。

0歳児 離乳食の期間…毎月献立表と共にチェックシートをお渡しします。
記入して提出して下さい

0歳児 完了食（幼児食）以降2歳児まで…チェックシートの配布はありません。
ご家庭での確認をお願いします。

■ 冷凍母乳について

冷凍母乳の受け入れもしています。ご希望の方はお申し出ください

■ 夕方の補食について

19時お迎えのお子さんのみ、18：30に補食の提供があります

＊完了食以降の
食材に関しては＊
前日までに
ご自宅で必ず2回は
食べてみて
下さい



保護者の方との連絡

- *入園時の個人票や面談、毎日の連絡帳等で、お子さんの様子や気になることなど保護者の方の思いも含めて伺い、共に考えていきたいと思っています。どうぞお気軽にお声かけ下さい。
- また、お子さんの安全にも関わることでありますので、体調、家庭での怪我など詳しくご記入下さい。

- *園だより・クラスだよりを年に数回発行しています。
- 写真の掲示も学期に数回していますので、お迎えの際にご覧ください。

個人情報取り扱いについて

職員の義務

保育園に勤務する職員は、それぞれの家庭、子ども、保護者の個人情報に関して守秘義務を持っています。職務上知り得た個人情報をみだりに他人に知らせたり、不当な目的に使用しません。

保育上の個人情報についてのご理解をお願いします。

園だより、クラスだよりなどのお便りへの個人名の掲載
ホームページや、ニュースレター、アルバムなどの写真の掲載、写真販売
保護者会や外部に向けての施設紹介などの写真、動画のオンライン配信
保育室のロッカー等の記名

- *ご事情のある方、控えて欲しい方は、ご相談ください。
- *上記お便りやアルバム等配布されたもので、個人名や写真が掲載されているものは、ご家庭での管理をお願い致します。

地域の子育て支援、小中高生の保育園体験、次世代育成へのご理解をお願いします。

保育園への見学や子どもたちとの交流を例年行っています。
また、妊婦さん等オンラインでの保育の様子の配信なども行っています。
保護者会でお見せする画像等使用させていただいています。
どうぞご理解ご協力よろしくお願い致します。
*ご事情のある方、控えて欲しい方は、ご相談ください。

園内でのスマートフォンなどの撮影は原則禁止とさせていただきます。
また、園児や保育園が映っている写真や映像、手紙の SNS での配信はご遠慮下さい。

お子さんが、心地よく楽しく園生活を送るために、また健やかに成長していくために
園と保護者の方と共に考えていきたいと思えます。
リズムのこと、体調のこと、発達のことなど、お気軽にご相談下さい。

■ 早寝早起きの生活リズムを

成長ホルモンは眠っている時間にしか分泌されません。お子さんの成長のために十分な睡眠を確保しましょう。(睡眠時間の目安は、1歳未満 13時間以上・1～2歳 11～12時間です)
起きてから2時間位たつと、身体も脳も活動を始めます。身体がすっきりしはじめた頃に
登園、園生活がはじまると、気持ちよくスタートできます。

■ 登園前の健康チェック

おうちで健康状態を確かめてから登園しましょう。

* 必ず体温を測ってきて下さい。

(37.5度以上の発熱時や下痢、嘔吐の直後の場合保育はお受けできません)

保育中の体調不良や怪我など

保育中、37.5℃以上のお熱が出た場合や、発熱はなくても嘔吐、下痢など明らかに
具合の悪い場合は、ご連絡をいたしますのでお迎えにいらして下さい。

小さな保育室で、隔離保育が難しい施設です。どうぞ早めのお迎えにご協力下さい。

万が一の怪我など、受診が必要と判断した場合は保護者の方の到着を待たずに受診することが
あります。ご連絡は必ず致しますので、その際は直接病院へ向っていただきます。

伝染性の疾患が治って登園する場合は、登園許可証・登園届が必要になります。

* みんなのところで園医(健診、相談、情報提供)

田原医院(武蔵野市関前 3-3-9 tel0422-51-8458)

歯科…こみねキッズデンタルクリニック(西東京市南町 4-13-22 Tel042-460-4182)

■ 健康診断・発育測定(小規模保育室のみ)

- ・健康診断…年に2回
- ・歯科検診…年に1回
- ・身長体重測定…月に1回

結果は随時お知らせします。(けんこうカードでお知らせします。確認後ご返却下さい)

■ 入園後の保険証・乳児医療証（マル乳）の変更

10月の乳児医療証の切り替え後や、保護者の転職などで保険証が変わった際は、コピーを提出してください

■ 感染対策として

- ・感染症が園で発症した際に、掲示を行います。似た症状で受診する際は、園での情報をお医者さんにお伝え下さい。
また、感染症が判明した際は、園に連絡をお願いします。
- ・吐物で汚れた衣類やシーツは、保健所の指導により園での消毒、洗濯はできません。
他のお子さんの嘔吐物で汚れたものも持ち主の方にお返しします。処理の際は手袋、エプロン等を用いての消毒、洗濯が必要です。
園内での集団感染を防ぐ為にご理解、ご協力お願い致します。

■ 予防接種

予防接種をしっかり受けて、ワクチンで防げる病気を予防しましょう。集団生活においては流行性の感染症が年間を通して発生します。特に麻疹（はしか）については病状が非常に重くなることがあります。1歳を過ぎてMRワクチンが未接種の方は、体調の良い時を見て主治医の方とご相談下さい。

*接種後当日の保育はできません。ご自宅でゆっくりお過ごし下さい。

*翌日の登園時に連絡帳にてお知らせ下さい。（次回けんこうカードに追加のご記入もお願いします。）

■ 保育園における薬の取り組みについて

保育園では原則として、薬を預からないことになっております

その理由としては

- ① 主治医から乳幼児に処方された薬は、保護者が与えるべきものである。
- ② 内服薬を飲まなければいけない状態の時は、自宅などで療養が必要な時期で保育園での集団生活には適さない、と考えているからです。

慢性疾患などで園児が薬の使用なしでは健康的な日常生活が過ごせない
場合のみご相談ください

■ 子どもに多い伝染病の症状および登園停止期間の基準

下記以外でも体調を崩した等受診した時は、0歳～3歳まで一緒に過ごすスペースであることを伝えた上で、いつから集団保育が可能か、必ず確認をとって下さい。

登園前日に必ず園まで
体調報告のご連絡を
お願いします

医師の診断を受け、保護者が登園届を記入する感染症
(医師の診断は必ず受けて下さい)

感染症名	感染しやすい期間	登園のめやす
溶連菌感染症	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後1日間	抗菌薬内服後24～48時間が経過していること
マイコプラズマ肺炎	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後数日間	発熱や激しい咳が治まっていること
手足口病	手足や口腔内に水疱・潰瘍が発症した数日間	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること
伝染性紅斑 (りんご病)	発しん出現前の1週間	全身状態が良いこと
ウイルス性胃腸炎 (ノロウイルス、ロタウイルス、アデノウイルス等)	症状のある間と、症状消失後1週間(量は減少していくが数週間ウイルスを排出しているので注意が必要)	嘔吐、下痢等の症状が治まり、普段の食事がとれること
ヘルパンギーナ	急性期の数日間(便の中に1か月程度ウイルスを排出しているので注意が必要)	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること
RSウイルス感染症	呼吸器症状のある間	呼吸器症状が消失し、全身状態が良いこと
帯状疱疹	水疱を形成している間	すべての発しんが痂皮(かさぶた)化していること
突発性発しん	(感染しやすい期間を明確に表示できない)	解熱し機嫌が良く全身状態が良いこと

その他①アタマジラミ症②疥癬③水いぼ④とびひ⑤B型肝炎については、必ず受診していただき

医師の診断と集団生活における配慮事項の確認をさせていただいています。

また手足口病につきましては、発疹が増えている間は感染の可能性がまだ高いため、

登園をお控え下さい



保護者の方が記入する登園届

用紙は武蔵野市のホームページからダウンロード
できます(園でもお渡しできます)

医師の意見書が必要な感染症

感染症名	感染しやすい期間（※）	登園のめやす
麻疹（はしか）	発症 1 日前から発しん出現後の 4 日後まで	解熱後 3 日を経過していること
風しん	発しん出現の 7 日前から 7 日後くらい	発しんが消失していること
水痘（水ぼうそう）	発しん出現 1～2 日前から痂皮（かさぶた）形成まで	すべての発しんが痂皮（かさぶた）化していること
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	発症 3 日前から耳下腺腫脹後 4 日	耳下腺、顎下腺、舌下腺の腫脹が発現してから 5 日経過し、かつ全身状態が良好になっていること
結核	—	医師により感染の恐れがないと認められていること
咽頭結膜熱（プール熱）	発熱、充血等の症状が出現した数日間	発熱、充血等の主な症状が消失した後 2 日経過していること
流行性角結膜炎	充血、目やに等の症状が出現した数日間	結膜炎の症状が消失していること
百日咳	抗菌薬を服用しない場合、咳出現後 3 週間を経過するまで	特有の咳が消失していること 又は適正な抗菌性物質製剤による 5 日間の治療が終了していること
腸管出血性大腸菌感染症（O157、O26、O111等）	—	医師により感染のおそれがないと認められていること。 （無症状病原体保有者の場合、トイレでの排泄習慣が確立している 5 歳以上の小児については出席停止の必要はなく、また、5 歳未満の子どもについては、2 回以上連続で便から菌が検出されなければ登園可能である。）
急性出血性結膜炎	—	医師により感染の恐れがないと認められていること
侵襲性髄膜炎菌感染症（髄膜炎菌性髄膜炎）	—	医師により感染の恐れがないと認められていること
新型コロナウイルス感染症	発症の 2 日前からと発症後 7 日～10 日間	発症日（検体採取日）の翌日から 5 日経過し、かつ解熱剤を使用せず解熱した後 3 日経過していること
インフルエンザ	症状が有る期間（発症前 24 時間から発病後 3 日程度までが最も感染力が強い）	発症した後 5 日経過し、かつ解熱した後 2 日経過していること（乳幼児にあっては、3 日経過していること）



医師による意見書（登園許可証）

- ◇小規模保育室の方・・・用紙は病院にあります（武蔵野市医師会会員の医療機関）
- ◇定期利用保育の方・だれでも通園プランの方・・・とことこ作成の用紙をお使いください
（認可園所属ではないことをお伝えください）



緊急時・安全対策について

<マニュアル作成>

事故防止 / 発生時対応・防災 / 発災時・お散歩・119 番通報・防犯 / 不審者対応 / 水遊び

<職員研修>

マニュアルに沿った職員研修（年に 1 度以上）

外部研修の受講（市内研修や、都、消防署や外部団体主催の研修など）

災害対応

<避難訓練>

日ごろから自身や災害に備え、訓練を行っています。

園児は職員の指示に従って行動できるように、また、職員は的確な判断と適切な行動で園児の安全をはかり、被害を最小限にとどめられるよう、避難訓練と消火訓練を毎月 1 回以上行っています。

* 日ごろの訓練 *

～保育室で起きたら～

室内で避難場所と定めたマークをつけたところに集まります

（年齢が小さいので机の下ではなく、室内の落下物のないところに集まります）

大人と一緒に丸くなり、防災頭巾、布団をかぶります

外へ避難する訓練時は、室内で靴（上履き）を履いて実際に武蔵野大学まで避難してみます

～散歩中（戸外）で起きたら～

一番安全なところにいる職員が手をあげ、「先生のところに集まって！」と、声を出します

職員同士連携し、人数を数えながら素早く子どもたちを集めます

事務室と連絡を取り合い、園に戻るか避難するか判断します

《子どものねらい》

もも

- ・避難の声かけにも普段と変わらず大人に頼る
- ① 職員と避難体勢をとる
- ② ふとんをかぶる

きいろ

- ・避難の声かけにも普段と変わらず大人に頼る
- ・「グラグラ」（地震の揺れ）の合図がわかる
- ・避難の場所を知る
 - ① 室内ではマークのある場所
 - ② 戸外では手を挙げた職員の所
- ・布団、防災頭巾をかぶるなど、身の守り方を知る
（だんごむしのポーズ）

そら

- ・避難の場所を知る
 - ① 室内ではマークのある場所
 - ② 戸外では手を挙げた職員の所
- ・布団、防災頭巾をかぶるなど、身の守り方を知る
（だんごむしのポーズ）
- ・保育士の話を聞き、安全な避難の仕方を知る

《だんごむしのポーズ》

大切な頭を守るため、頭をかくして…丸まって…身体を小さく丸めることで落下物から身を守ります。
もも（0歳児）グループは、職員と一緒に身体を丸めることで落下物から身を守ります。



だんごむしのポーズ

後頭部あたりに手を当て、膝をついて（正座）、肘を床につけ身体を丸める。

子どもたちには「（自分の）おへそをみるよ」と伝えています。

大人と一緒にだんごむしのポーズ

（月齢の小さな子どもの頭を守るために）

大人が正座し、ももを開いた状態で丸くなった子どもの頭の方からおおいかぶさります。（子どものおしりを手でおおうように）



<応急保育に対する備え>

3日分の食事、おやつ、水を施設に常備しています。調理が困難な場合、備蓄品を子どもたちに提供します。
（ライフラインが確保出来ない場合、衛生環境の維持等も最小限になるためおむつやごみの持ち帰り等で協力いただくことがあります）

<発災時の対応>

大規模地震対策特別措置法により、地震発生の警戒宣言が発令された場合、
とことにおいては「武蔵野市地域防災計画」に合わせて保育は中止され、保護者に
児童を引き取っていただくことになります。（通常保育態勢から応急保育態勢に
切り替え）保育中止の連絡が入った場合、出来るだけ早くお迎えにいらしてください。

基本的には室内で待機していますが、避難が必要な場合は、

武蔵野大学のグラウンド その後長引くようであれば **千川小学校** に避難します。

園メールシステム（「すぐーる」・別紙）に、ご登録下さい

まずは上記メールで情報を発信していきます。

更に上記メールの他、災害用伝言板（携帯 **090-5331-6311**）も使用予定です。

また、「むさしの防災・安全メール」に登録すると、市からの緊急情報をPCや
携帯メールで受けられます。

*非常時にすぐに靴をはかせてあげられるよう、靴のかかと外側に記名をお願いします

*緊急連絡先カードに変更が出た際は、すぐに担任にお申し出ください

休日・夜間に発生した場合、園児、保護者、職員の安全確保が困難と判断した場合や
交通機関の運休で保育態勢が取れないなどの場合は、休園になることがあります。
臨時対応や保育再開に関しては、園から連絡致します。

常時の保育中の人数確認

お散歩時以外の室内でも、職員の入れ替わりの際や、降園時など必ず人数を声かけあっています。

<事故防止・事故対応>

・安全点検

玩具や家具、施設、の点検（遊具は毎日）

- ・事故対応時に備えた表示（病院一覧や通報時等の保育室、事務室内掲示）
- ・ヒヤリハット（未遂の場合）や事故の職員間の共有（改善点を含めた内容を全職員で当日中に共有）
- ・午睡時は5分おきに呼吸、顔色など触れて確認
- ・食事中は、保育者は子どもの顔が見えるよう対面に大人が必ず座り、おかわりなど離席する際は声を掛け合って、子どもが食べ終わるまで口元の見えない状態にはならないよう目を配る 等

<散歩>

- ・保育園出発前→ひとりずつの顔と名前を一致させての人数確認

- ・公園到着時→遊ぶ前に、危険個所がないか見回り

＊子どもたちに

①遊ぶ範囲（今日は、この中であそぶよ）と危なそうな場所を子どもたちと確認し、

②保育者が呼んだら集まる ことを伝え、

一緒に過ごす大人と子どもの名前と人数をみんなで確認してから遊び始める

- ・公園では、保育者は常に全員が見える位置で、人数を確認しながら過ごす（出入口付近にはひとり配置）
- ・公園出発前→人数確認をして事務室に「〇〇グループ子ども〇人大人〇人で出発します」と連絡して園に向かう

<防犯・不審者対応>

- ・年に2回不審者訓練

◇ ホワイトイーグル

市内安全パトロール隊員が、パトロールカーで巡回をして立ち寄り、危険がないことを確認しています。
不審者などの情報も伝えてくれます。

◇ 学校110番（非常通知装置）

ボタンを押すだけで警視庁に通報され、発信場所に直ちに警察官が急行します。
装置は、施設内に複数設置されています。

小規模保育室・その他保育



休日保育

- *日時* 日曜日及び祝日 9:00～17:00
- *対象* 認可園（他市でも可）に通っている満1歳～5歳児
- *予約* 1か月前の1日から（小規模保育の予約であること、お子さんの在園先と年齢もお伝えください）
- *料金* 無料



定期利用保育

- *就労など要件のある方対象の
1か月以上継続ご利用の保育です
（おうちのとことこにて）



小規模保育室・余裕活用保育

- *小規模保育室の定員に空きが
あった際に利用できる
一時預かり保育です。
（小規模保育室にて）



とことこだれでも通園プラン

- *就労などの要件は必要なく、週に1日保育室の仲間と過ごします。
（東京都の「多様な他者との関わりの機会の創出事業」）

とことこ・その他保育

一時預かり保育 おうちのとことこ

- *開所日時* 平日、土日祝共に 8:30～17:30
- *定休日* 第3土曜日・年末年始・イベントや研修による臨時休業
- *対象* 生後57日～小学生まで
- *予約* 1か月前の1日10時から（1日が土日祝だった時は翌平日）

ちょっとした用事の際やリフレッシュ、お仕事など…どなたでもご利用いただけます。

とことこ会員				むさしの会員
	1 歳未満	満 1 歳～年長	学童	認可園に通っていない 市内在住 0 歳～年長
<基本時間> 9：00～17：00	30 分 600 円	30 分 500 円	30 分 450 円	2 時間 1,000 円 (2 時間単位)
<基本時間外・平日のみ> 8：30～9：00 17：00～17：30	30 分 700 円	30 分 600 円	30 分 550 円	
入会金	5,000 円（入会時のみ）*むさしの会員入会金含む			500 円（入会時のみ）

*初回ご利用時間は、原則4時間まで（お子さんの月齢、年齢や様子に合わせて応相談）

特別保育

（とことこ会員のみ）

マンツーマン保育です。一時預かり保育料金の1.5倍の料金です。
（怪我など個別対応が必要な場合・シッターなど）

送迎保育

（とことこ会員のみ）

*1回につき500円＋距離の加算、交通費 *公共の乗り物、もしくは徒歩での移動のみ
*幼稚園、保育園などで自宅以外への送迎は、事前手続きが必要です

*専門のスタッフがいるわけではありませんので、直前のご予約や、他の方と重なった日など、
お引き受けが難しい日もあります。ご了承下さい。



お困りの時は…

お気軽にお声かけ下さい。

とことこ保育室みんなのとことこ ＜苦情解決の仕組み＞

苦情受付責任者 村上奈緒子

苦情解決責任者 臺久美子・平湯友子

保育園における困りごとがありましたら、お気軽にお声かけ下さい
担任やスタッフにお伝えいただいた声（苦情）は、施設長、理事長に伝えられます

更に、第三者の助言が必要となった場合は、以下の仕組みがあります

第三者委員

*川名 瑛（経営コンサルタント・他社会福祉法人理事等）
0422-22-2200

*金子 洋（社会保険労務士）
0422-27-1660（SRK 労務経営事務所）

*苦情受付…第三者委員は直接苦情を受け付けることもできます

*報告…受け付けた苦情は、双方で報告します

*話し合い…苦情を申し出した方又は苦情解決責任者は必要に応じて、第三者委員の
助言を求めることができます

立ち合いによる話し合いは、第三者委員による苦情内容の確認と解決案の
調整・助言、改善事項等の書面での記録と確認により行います



保育時間・お支払い

■ 保育標準時間認定の方

保育時間（開園時間 ＊平日 月～金曜日…8時～19時）

各ご家庭の状況に応じて、面談にて保育時間を決定致します

（満1歳に満たないお子さんは、18時まで）

■ 保育短時間認定の方

8時～17時までの間8時間を基本時間とします

（①8時～16時②8時半～16時半③9時～17時）のいずれかのパターンで年間契約となります）

＊延長保育をご希望する場合は、前日までにご相談下さい。

（当日お迎えの際に、延長保育料30分あたり450円をお支払いください）

＊ご両親の就労等で土曜日保育をご希望の方はご相談下さい。こちらの可能な範囲で対応させていただきます
（私用の際の土曜日保育は、とことこの一時預かり保育にご相談下さい）

■ 保育料

所得に応じて決まります（市役所から通知が来ます）

＊なお、保育料の階層区分は、毎年9月に見直しがあります。振込の方は確認後ご入金下さい

■ お支払い

当月10日までに

銀行名	三井住友銀行 三鷹支店
口座番号	（普通） 7352978
名義	特定非営利活動法人 子育て応援スペースとことこ

＊お振込み後、担任にお申し出ください

＊お休みの際の返金はできません。

前期（4月～8月）の
保育料が、4月10日までに
確定していない
可能性もあります。
4月分の納入については
お知らせまで
お待ちください。



加入保険について

保育中（みんなのとことこの管理下において）の事故を対象とした保険に加入しています
万が一の場合は、保険の範囲内で対応させていただきます

日本スポーツ振興センター・災害共済給付制度（医療費・見舞金）

☐ 給付の種類と内容

（1）医療費

総治療費が 5,000 円以上（医療点数 500 点以上）の場合、給付の対象になります

＊その際は、一旦自己負担額をお支払いいただくことになります

＊5,000 円未満の場合は、マル乳の適用

（2）障害見舞金

負傷・疾病が治癒した後に残った障害で、その程度（1～14 級）に応じて 3.770 万円～85 万円
（登降園中の場合 1.885 万円～41 万円）の範囲で給付されます

（3）死亡見舞金

2,800 万円（等降園中及び突然死の場合 1,400 万円）が給付されます

☐ その他

武蔵野赤十字・杏林大学病院等に紹介状無しに受診した際の選定医療費が必要な場合は、自己負担となります

☐ 共済掛け金について

とことこ保育室みんなのとことこが全額負担します

保護者の方の任意になっていますので、辞退を希望される方はご契約の際にお申し出ください

あいおいニッセイ同和損保・賠償責任保険（1 事故 2 億円）

点数（治療費）に関係なく、法人の活動中の事故が対象です

とことこ給食食材確認表

この表は、とことこ給食で使用する主な食材の例です。**図ではご家庭で2回以上食べたことがあるという前提で給食を提供していきます。**
ここに出ている食材以外も使用しますので、毎月配布する献立表をご確認いただき、事前にご家庭で2回以上は食べておいてください。

初期から使用 5～6カ月頃	中期から使用 7～8カ月頃	後期から使用 9～11カ月頃	完了期(幼児食)から使用 1才～
------------------	------------------	-------------------	---------------------

穀類	✓	魚介類	✓	野菜類・きのこ	✓	野菜類・きのこ	✓	果実	✓	種実・豆類	✓
白米		たい		ほうれん草		キヌサヤ		りんご		★豆腐	
★食パン		★しらす		ブロッコリー		グリーンピース		★オレンジ		★豆乳	
★うどん		★かつおぶし		トマト		ごぼう		柑橘類(みかんなど)		★味噌	
★ソーメン		たら		玉ねぎ		ズッキーニ		★バナナ		★納豆	
★ふ		★鮭		人参		なめこ		イチゴジャム		★きなこ	
★小麦粉		★カレイ		かぼちゃ		パセリ		★パイナップル缶		★おから	
★パン粉		★ツナフレーク		大根		パプリカ赤・黄		レーズン		★高野豆腐(粉豆腐)	
		★えび		キャベツ		ピーマン		★黄桃缶・白桃缶		★厚揚げ	
★スバゲティ・マカロニ				かぶ		舞茸		洋ナシ缶		★油揚げ	
				きゅうり		水菜		★メロン		★ごま	
				グリーンアスパラ		生姜		★柿		★ごま油	
いも・でんぶん	✓	乳類	✓			切干大根		★梨		茹小豆缶	
じゃが芋		★ヨーグルト		チンゲン菜				しモン果汁		調味料・油	✓
片栗粉		★牛乳		なす						★しょうゆ	
さつまい		★チーズ		れんこん		藻類	✓				
とうもろこし		★バター		小松菜		昆布だし				砂糖	
里芋				白菜		わかめ		その他	✓	塩	
春雨		肉類	✓	もやし		ひじき		麦茶		みりん	
		★鶏ささみ		ねぎ		あおさ粉		ベーキングパウダー		酒	
		★鶏もも肉		しめじ		寒天				★中農ソース	
		★豚肉		インゲン						ケチャップ	
				えのき						酢	
				オクラ						マヨドし※1	
										ルウ※2	

※1：卵不使用マヨネーズタイプドレッシング

※2：カレー、シチュー、ハヤシライスには、エスビー食品の王子さまシリーズのルウを使用します。

★の食品は、アレルギーを起こしやすい食材または、その食材を含む食品です。



0歳児～2歳児の

こどもたち

1年間の発達と保育

たくさんの大人や友だちの中で
愛され、大切にされていることをたっぷり感じ、
自分を好きになる「根っこ」の大事な大事な時期です。
少人数の保育の中で、大人ともゆっくり、子ども同士も
友だち同士を認識しやすい規模でゆっくり関わっていきます。
おうちの方とも丁寧にお話ししながら、
お子さんの成長を見守っていきたいと思っています。

0歳児の1年間 ～こんな年齢～

- ◎ 安心できる大人と安定した結びつきの中で、身体、心が大きく成長していく時です。
- ◎ 食べる（飲む）・寝る・遊ぶなど、安定した生活リズムで過ごすことや、大人による介助に言葉を添えられることにより、情緒が安定し、成長につながっていきます。
- ◎ 自分の身体を自分のものとして捉えるようになり、自分の身体やまわりへの興味を原動力に、自分の意思で身体を動かすことを楽しむようになっていきます。
- ◎ 発達の個人差が様々な場面で見られる時であり、その子ひとりひとりの育つ力やスピードがあります

◇からだ（運動機能）

・全身運動

首すわり→寝返り→ずり這い→お座り→ハイハイなど活発になる

＊あかちゃんの身体はおなかの中では「C」の形に丸まっています。（ひざはお尻より上の高さで曲がって「M」の形）
首座りまでは、あかちゃんの身体に負担なく安心できる「まあるくだっこ」がおすすめです。

・見る・聞く

見た物を目で追う、声のする方に顔を向けるなど外界への関心と共に身体を動かし、反応し、関わっていく

・肢体・手指の動作

手足を自分の意思で動かし、次第に叩く、押す、にぎる、つまむなど指先への動きにつながる

・吸う、飲む→食べる

吸うこと、おもちゃなど口に入れて、口内を刺激することも「食べる準備」。腰の安定は食べ物を飲み込む力へ。

◇あたま（言葉・認識）

- ・ねえねえこち見て！ 泣く、笑う、喃語などでおしゃべりし、自分の欲求を表現する
あやすと喜ぶ、など相手の反応を楽しむやりとり遊びができる

- ・なんでも口へ 気になったものを口に入れて、口の中で感触を確かめる

- ・名前、声かけがわかり、やりとりにつながっていく

生活や気持ちに言葉を添えられ、喃語に大人が応え声をかけていくことで、次第に簡単なおとなの言葉も理解できるようになっていく

◇こころ（感情・社会性）

- ・快⇔不快の繰り返しのなかで

泣くなどして不快感を表現する。そこで抱っこしてもらい、おむつを替えてもらうなど
大人が関わることで安心感、愛着関係がうまれる。

- ・大人との安心感

情緒的な絆が深まり、見つめ合ったり、ほほえみあったり、話しかけてもらったり、身近な愛情豊かな
関わりで愛着関係が育つ。また、身近な人と見知らぬ人との区別がつくようになる（人見知り）

- ・興味や好奇心～あそびが学び～

自分の手や足といった「身体」をはじめ、戸外の自然の中や屋内でも、動くもの、音のなるものなどを
見たり触ったりすることを繰り返し、周りに対する興味や好奇心が育ち探索活動が活発になる時期。

＊ズボンやくつしたなど着脱の興味なども見られるようになります。

こんなことを大切にしたいと思っています

◎自分の力で・自分を楽しむ

赤ちゃんの発達には順序があります。ひとつひとつの発達を大切に、自分の力で動きを獲得していけるよう環境を整えながら、
ひとりひとりを見守っていきます。

◎行動にことばを添えられて

こどもの声にやさしく応え、オムツや着替えなどなにかをする前に「～するよ。」「～だったね」と、声を掛け触れ合う中で、
こどもが小さな見通しを積み重ね、安心して思いを出し主体的に過ごせるよう、心地よい安心感と愛着関係を育みます。

◎世界と出会う

子どもたちの発達や興味、関心を捉えてその育ちを支え、その世界が豊かに伸びていくよう
人や物、環境との出会いを大切にしていきたいと思っています。

1 歳児の 1 年間 ～こんな年齢～

- ◎自我の芽生えで「みてみて！」と、自分を主張しはじめます。
- ◎歩行の完成。歩けるようになり、行動範囲が広がり探索行動が盛んになります。
- ◎二語文（「わんわん・いた」など）が出て来て、気持ちや見たことを伝えようとします。
- ◎他者に興味が深まり、まねっこが楽しい時期です。

◇からだ（運動機能）

- ・歩くことがスムーズになり、走る姿につながってくる
- ・つかむ→つまむ、めくる、など手先が器用になってくる
- ・またぐ、くぐる、登る、降りるなど、目の前の物を見て、自分の意志で手や足、身体を動かす

◇あたま（言葉・認識）

- ・言葉と対象が一致してきて
一語文（ワンワンなど）から二語文（ワンワン・イタなど）へ言葉が増えてくる
*200～300語の言葉が認識できるようになって初めて発語につながると言われています
- ・生活の流れが大人の声かけによって分かってくる
- ・様々な表情、声で喜怒哀楽を表すことができるようになり、「○○やりたい」「○○させて」「いやだ」「やらない」などの意思を、ことばや動作で伝えられるようになってくる
- ・ものの形や大きさが少し分かるようになる

◇こころ（感情・社会性）

- ・感情が豊かになり、自我、欲求が増えるので（じぶんで）「やりたい」（言われて）「やりたくない」など思いがでてくる。
*その時々のことばはまだつたなく「いや！」「やだ！」と短い否定語も多い時ですが、心にあふれる思いはいっぱいです
- ・友だちへの関心がでてくる。まだ言葉の表現では思いをつたえることが難しいため、大人が仲立ちとなり、
つなげていくことで、気持ちを分かってもらえたという安心感が、人と関わることへの安心や更なる興味にもつながる。
- ・大人や友だちと同じことをやりたがる、同じものが欲しくなるなどの姿が出てくる。
また、それが楽しい。

こんなことを大切にしたいと思っています

◎「自分で決めること」「気持ちを確かめられること」を大切に

この先「自分で考えて行動することができる子ども」に育つための大切な時期です。

子どもが自分で決めること、気持ちを確かめられることを大切にしていきます。嬉しい気持ち、悔しい気持ちも、言葉を覚えて、できなかった時や大人の事情で「ごめん、させてあげられなかった」時も、やりたかった気持ちは肯定していきます。

◎「やってみたい」「できた！」に共感しながら

着脱など身のまわりのことやあそびの中で、「できた！」と思えることが大きな次への好奇心とチャレンジにつながる時期。嬉しい気持ちにたくさん共感しながら、活動や環境を整え、見守っていきたいと思っています。

◎「怪我は止める。関わりは止めない」

もちろん、子ども同士のトラブルも増える時期です。それぞれの気持ちを丁寧に聞き、大人がつないでいきます。

また、相手を傷つけるなど、間違った表現はどうしたら良かったか考え、その元にある「欲しかった」「やりたかった」などの気持ちにはきちんと共感していきます。

2歳児の1年間 ～こんな年齢～

- ◎ あそびなどの場面で、少し具体的にイメージが持てるようになる時です。`このタイミングで、ぼくがこうするから、こうして欲しかった” など、やりたい内容が複雑になってくるので、「そうじゃない!」と、悲しくなることも出てくる時期です。また、感情も細分化してくるので、新しい感情に戸惑う時期でもあります。
- ◎ 身の回りのことがほぼ自分でできるようになり、ことばが活発になり、会話がスムーズになってきます。一方で気持ちの揺れを「やって〜」「できない!」と表現したり、適切な場面で適切な「言葉」を使うのはまだまだ難しい年齢です。
- ◎ 友だちへの興味が更に深まり、関わりが増え、イメージを共有し、展開していくごっこあそびなども楽しめるようになってきます。

◇からだ（運動機能）

- ・ 走る、登る、跳ぶ、ボールを蹴る、投げるなど全身を使った動きが自分の思うようにでき、楽しめるようになってくる。
- ・ 体力もつき、歩ける距離も伸びる
- ・ 音楽や言葉を聴きながら、それに合わせて身体を動かすことを楽しめるようになる
- ・ ボタンかけなど、より細かい手指の動作が出来るようになる

◇あたま（言葉・認識）

- ・ 言葉が増え、自分の思いや経験を伝えたい、伝えようとする
- ・ あそびの中で、自分のイメージを形にできるようになる（製作、ブロックあそびなど）
- ・ 知的好奇心が深まり、色や数、形への興味や「どうして?」と質問もでてくるようになる

◇こころ（感情・社会性）

- ・ 一緒にいても一人ずつあそぶ「並行あそび」と共に、まねっこからごっこあそびへと、友だちとイメージを共有して展開し楽しむこともできるようになってくる（あそびやものごとのルールが分かってくる）
- ・ 感情が増え、（細分化してきて）他者から見た自分を想像できるようになってくるため、「恥ずかしい」「出来ないかもしれないからやらない」という気持ちや、トラブルの際なども「ぼくの味方をしてくれないのは悲しい」という気持ちが出てくるようになる。語彙は増えても、「自分の思い」を言葉で伝えるのはまだ難しく、大人の仲介により、自分の気持ちを認めてもらい、適切な表現と一緒に考える経験が大切な時期。また、友だちの仲介をするなど関わろうとする姿も見られるようになってくる。

こんなことを大切にしたいと思っています

◎自分たちで作っていく毎日

身の回りのことや、1日の流れなど、園での生活が見通せると、主体的に園生活を楽しめるようになります。「おうちとは別のもうひとつの生活の場所」を「ぼくの・わたしの部屋」だよ。と、安心して、楽しんで過ごせるように、生活の中の見通しを持てるような動線の環境を作ったり、同じ生活の流れを過ごしていきたいと思っています。

◎お互いの思いや興味が楽しく響き合うような、友だちとの関わりを応援

友だちとの関わりの中でお互いの思いやアイデアを楽しみ合うような、1人ずつが大事にされる関係の中で、イメージを共有、発展しながらの遊びを応援していきたいと思っています。

◎ひとりひとりの思いを受け止めて

自分の思いを充分に表現し、生活していくことができるように、子どもたちの思いに共感したり、揺れる気持ちに言葉を添えながら、子どもたちが胸に沸いた思いを自分の気持ちとして受け止め、それをどう表現するかというところの試行錯誤を見守って、応援していきたいと思っています。



「わがまま」ではありませんよ。そんなに叱らなくても大丈夫。

～0～2歳児の「社会的発達」の側面から～



「もっとやりたい!」「これじゃヤダ!」

早くしてほしい時に限って出てくるこだわりや、さっき1回ねって言ったのに、何度もやりたがる…。

と、大人から見ると、「さっき約束したでしょ」とか、

「わがままだなあ」とついつい思ってしまうような言動の数々…。

わがままな子になっちゃいそうで、小さいうちにしつけなきゃと叱りたくなりますが、

人の気持ちや状況を汲んで自分の気持ちをコントロールすることが出来るようになるのは、まだまだ先の話。

0～2歳児の子どもたちはその「コントロール出来るようになっていく未来」に向けて、

「自分の気持ちを受け止めてもらう→気持ちとして認識する（そして自分を肯定する）」という

大事な大事な土台づくりの時期です。

もちろん、かなえてあげられないこともたくさんあります。

大人からみて、理不尽で笑っちゃうこともあります。

言うなりになるということではなく、

「もっとやりたかったね～」 「ママも～。残念だった～」と共感したり、

「使ってたんだよね。じゃあ、この赤い車と青い車、どっち貸す?」と、ちょっと違う視点で選んでもらったり

「もうちょっと泣いてみる?」と、泣いている我が子の隣でどうするかな?

と、観察してみるのもいいかもしれません。

前もってちょっと説明してあげたり、危ないものは見えないところにおく、お菓子コーナーは通らない

など、大人の工夫で避けられるトラブルもありそうです。

「気持ち」を受け止めてもらった、自分で決められたと感じると、

「やりたいと思った自分」を否定されることなく、自分自身を大切に出来るようになります。

そして、ようやく「他の人の気持ち」に、気が付き始めます。

大人の話聞ける子どもは、大人に話をたくさん聞いてもらった子ども。

子どもに振り回されることも多い毎日ですが、

いろんな人を頼って、リフレッシュしてご自身の気持ちもたくさん聞いてもらって

「愛チャージ」がたくさんできますように…。

職員一同、保護者の方と共に、お子さんの成長を応援していきたいと思っています。

1年間どうぞよろしくお願い致します。

とことこ職員一同